

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 9 月 25 日作成 第 1.0 版

研究課題名	当院が「産褥コール」対応で受け入れた褥婦における無痛分娩施行症例の頻度に関する緊急調査
研究の対象	2020 年 1 月から 2025 年 8 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターに産褥搬送された患者さんを対象とします。
研究の目的	近年、横浜市では無痛分娩を行なう機会が増えてきました。無痛分娩は患者さん（妊婦さん）の痛みを軽減することができますが、子宮収縮薬の使用や器械分娩の頻度が増加することも知られています。それにより、お産後の出血が増加することもあります。 当院は近隣の産科施設で発生した産後出血の患者さんを積極的に受け入れています。当院ではそのような症例を「産褥コール」と呼び、救急救命センター内で産科医師と救命医師が協力して対応しています。搬送されてくる患者さんのうち、無痛分娩を行なっていた頻度を調べることで、安全な無痛分娩の普及に必要な条件を検討できると考えています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、無痛分娩と産後出血の関連について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 11 月 18 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2029 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 11 月 18 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身長、体重、経妊回数など 2) 新生児情報：身長、体重など 3) 救命隊からの情報：現地到着時間・当院到着時間・搬送時間など 4) 手術情報：手術時間、麻酔時間、輸液量、輸血量など 5) バイタルサイン 6) 血液検査の結果：ヘモグロブリン値、血糖値など 7) 尿検査：蛋白、糖、潜血など 8) 病理学的所見（胎盤や子宮が検査に出された場合） 9) 合併症 10) 予後
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工された情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 佐藤 仁
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は、資金を要しない研究です。開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 （研究責任者）佐藤 仁
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 （研究責任者）佐藤 仁 （問い合わせ担当者）藤井 ありさ 電話番号：045-261-5656（代表）	